

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	群馬県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	富岡市立西小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	3	2	2	2	1	14	24
児童数	74	69	83	70	71	69	2	438	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力を身に付けた児童の育成  
—算数科におけるきめ細かな指導の工夫を通して—

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

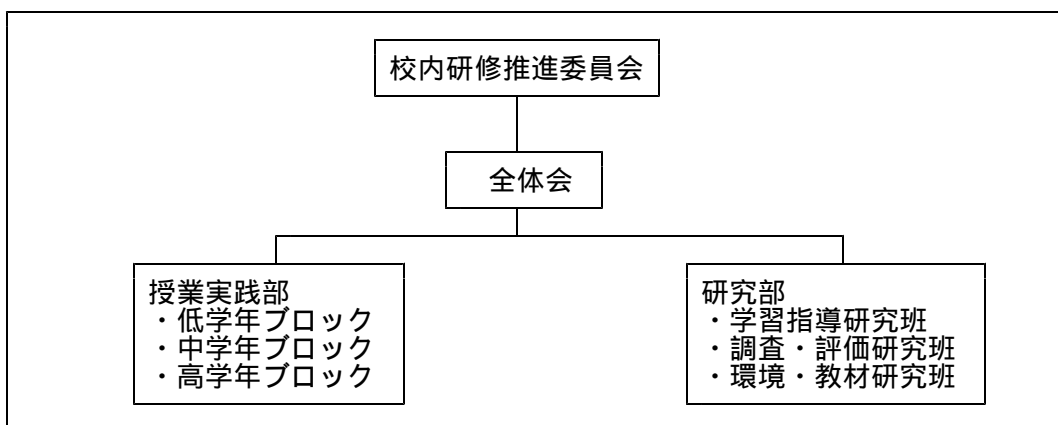
・1～6年生で算数  
児童の理解の状況に差が出やすい教科、学年であるため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 確かな学力を身に付けた児童の育成 —算数科におけるきめ細かな指導の工夫を通して—</p> <p>研究の見通し 算数科の学習において、授業実践を通してきめ細かな指導の工夫をすることにより、確かな学力を身に付けた児童を育成することができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導体制の工夫</li> <li>・きめ細かな指導法の工夫</li> <li>・体験的・操作的活動を取り入れた問題解決的学習指導の工夫</li> <li>・習熟の程度に応じた指導における教材・教具の工夫・開発</li> <li>・補充的な学習や発展的な学習における教材教具の工夫・開発</li> <li>・学習習慣の確立</li> <li>・指導に生きる評価の工夫</li> </ul>
--------	---

平成16年度	<p>テーマ 確かな学力を身に付けた児童の育成 —算数科におけるきめ細かな指導の工夫を通して—</p> <p>研究の見通し 算数科の学習において、授業実践を通してきめ細かな指導の工夫をすることにより、確かな学力を身に付けた児童を育成することができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導体制の改善・工夫</li> <li>・きめ細かな指導法の改善・工夫</li> <li>・体験的・操作的活動を取り入れた問題解決的学習指導の改善・工夫</li> <li>・習熟の程度に応じた指導における教材・教具の工夫・開発</li> <li>・補充的な学習や発展的な学習における教材教具の工夫・開発</li> <li>・学習習慣の改善・確立</li> <li>・指導に生きる評価の改善・工夫</li> </ul>
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

<p><b>指導体制の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童自身の選択を尊重した習熟の程度に応じた少人数コース別学習を実施した結果、児童が授業に集中し、意見や質問が増え、個別指導も受けやすいため、学習に意欲的に取り組む姿が見られた。</li> <li>・児童の自己評価で算数を少人数コース別に学習することをよいことと受け止めていることが分かった。 (よい73%、だいたいよい19%、どちらともいえない7%、よくない1%)</li> <li>・毎週水曜日を全校5校時とし、ブロック会議を定例化し生徒指導等の情報交換、教材研究の場とすることにより算数の授業が充実した。</li> </ul> <p><b>指導方法・教材教具の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態調査を全校で行い、各学年で対策を考え(ブロックごとに目指す児童像にせまるための具体的な取り組み)、重点単元の単元構想を練って一人一授業を公開して授業改善に努めたので、指導力の向上につながった。</li> <li>・指導過程の時間配分を両コース柔軟に対応したり、教具を変えたり、補充・発展教材を工夫したりすることで、集団や個に応じたきめ細かな指導を行うことができた。</li> <li>・具体物や半具体物、図や数直線を使って、十分時間をとって算数的活動に取り組むことで、数学的な考え方や課題解決力を養うように努めた。</li> <li>・集団の習熟度が均等なので、指導の照準があわせやすく、個別指導が必要な児童も絞れ指導の効果が上がった。</li> </ul> <p><b>評価の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に授業のねらいを明確に示し自己評価させることで、児童の学習意欲につながった。</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に、習熟度に応じた少人数指導のよさについて、説明したり、紙面で伝えたり、授業を公開したりしたことで、理解を得ることができた。(よい46%、だいたいよい38%、どちらともいえない13%、よくない2%、わからない1%)</li> </ul>
---

2. 今後の課題

<p><b>指導体制の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2コースの習熟の程度に応じたコース別少人数しどうを中心に実践した来たが、単元によっては、コースの数を増やす方向も考えていく必要がある。(4年生で1度試してみたが、大変よかった。)</li> </ul> <p><b>指導方法・教材教具の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コースに応じた教具や指導の工夫、補充問題や発展学習教材の開発等を、各単元においてしていく必要がある。</li> </ul> <p><b>評価の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価をどの学年も取り入れ、児童の学習意欲の向上に寄与したが、評価問題ができたときに評価するなど改善していく必要がある。また、教師の側も指導に生きる評価をどのようにするのか研究していく必要がある。</li> </ul>
--

## 学力等把握のための学校としての取組

- ・学年末に、目標基準準拠検査（C R T）の実施予定
- ・6月に算数の実態調査を全校で実施
- ・7月に外部評価の中で、12月に児童の自己評価で「算数における習熟の程度における少人数指導」についてアンケートを実施

## フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・授業公開研究会  
日 時 平成 15 年 11 月 28 日（金）14:00 ~ 16:30  
場 所 富岡市立西小学校  
対 象 西部教育事務所管内の小中学校  
目 的 習熟の程度に応じた少人数指導の授業を公開するとともに、各校の取り組みについて情報交換し、地域の学力向上について模索する。
- ・授業公開  
日 時 平成 15 年 11 月 11 日  
対 象 市内の6年担任  
目 的 習熟の程度に応じた少人数指導を公開する
- ・フロンティアティーチャーとして、市内の小中研修主任会で「きめ細かな指導について」自校の取り組みについて説明した。
- ・HP [http:// academicl.plala.or.jp/nishisyo/](http://academicl.plala.or.jp/nishisyo/)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               6学級以下                       7～12学級  
                                  13～18学級                       19～24学級  
                                  25学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  一部教科担任制                       その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       算数                       理科  
                                  生活                       音楽                       図画工作                       家庭  
                                  体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有                       無